

ふくみね

令和4年9月15日
高田小学校便り



校長先生からみなさんへ



9月1日に通常通り高田小学校は2学期がスタートしています。夏休みの間に様々な体験をしたであろう子どもたちの元気な声があちこちで聞かれます。新型コロナウイルスにはまだまだ安心できませんが、感染対策をきっちりして、2学期も元気に教育活動を展開していきます。

ところで、「サラブレッド」って知っていますか。サラブレッドは、レースをするために生まれ育てられている競走馬です。私は夏休み中に岡山県にある「サラブリトレーニング・ジャパン」というところに見学に行きました。

【競馬は多くの方に知られていますが、競馬を引退した競走馬たちのその後はあまり知られていません。競走馬となるべく、毎年7,000頭生まれるというサラブレッドたちは、3、4歳で引退する馬が多いのですが、もとは競走馬として、とにかく少しでも速く走れるようにと生まれた時から調教されたことから、乗馬クラブへ行っても競走馬としての習慣が抜けず、乗馬のようにゆっくり歩いたり走ったりということが受け付けられないのです。

馬は、長くて30年ほど生きています。ですが、引退後の環境をサポートするしくみがありません。例えば5歳で引退したとして、残りの25年間、一体何をするのか。】（※【】内は、サラブリトレーニング・ジャパンのホームページより引用）そのために、トレーニングをやり直すのが、「サラブリトレーニング」なのです。

調教師の方は、競走馬は、生まれてからすぐに、1頭のみで、闘争心を高めるように調教されます。そんな馬たちが、引退後群れの中で生活していくために大切なのは、『NO：してはいけないこと』と、『YES：すべきこと』を馬にきちんとわからせることです。そして、『NO』をやめ『YES』ができた時には、どんな小さいことでも十分ほめて安心感を与えてやることです。『NO』と『YES』が分かっているなければ、仲間の馬から信頼されるはずもなく、乗馬クラブでの役割を与えられることもかないません。」と話されました。

私は、見学を通して、日々の教育活動を振り返り、集団の中で生きることや個々の役割の意義について考えを深めることができました。

さて、高田小の2学期が始まりました。集団の中で、仲間と一緒に成長できる大切な学期です。校外学習・学習発表会・修学旅行・自然学校などがあります。「YES：きちんとやるべきことはきちんとやる」、「NO：してはいけないことはしない」を心がけ、仲間との信頼を深め、どんどん活躍していきましょう。みなさんがこの2学期にどれだけ成長できるか楽しみにしています。

地域、保護者の皆様、先日の再生資源回収にご協力いただきありがとうございます。多くの方々の善意の気持ちで集められた資源による収益は、PTAと相談し、学校教育活動の充実に有効利用させていただきます。再生資源回収だけでなく、日頃から皆様のご協力に感謝しております。2学期もどうぞよろしく願いいたします。 校長 山本 俊

全国学力・学習状況調査結果の概要（6年生）

6年生を対象にした全国学力学習状況調査の結果が公表されました。その結果から以下のような特徴が見られました。

【学力調査の解答状況から見える特徴】



- 国語では、「我が国の言語文化に関する事項」の漢字や仮名の大きさ、配列に注意して書く力や、「読むこと」の人物の発言理由や質問の意図を読み取る力がついています。一方で、「書くこと」のいくつかの条件を全て満たして文章を書いて解答すること、読み手に自分の考えを明確に伝えることに課題が見られます。
- 算数では、学習したことを基に、数量の関係を捉えて基本的な計算をする力がついています。また、長方形や三角形などの図形の性質を基に、辺の長さを求めたり、角の大きさや辺の長さに着目して図形を描いたりする力がついています。一方で、日常の具体的な場面に対応しながら、いくつかの数量関係を見て、式の意味や考えた理由を式や言葉を用いて説明したり、与えられた資料の特徴を目的に応じて捉えたりすることに課題が見られます。
- 理科では、表で提示された資料から、差異点や共通点に着目して情報を把握する力がついています。一方で、観察などで得た結果から自分の考えをもつことや、自然の事物・現象から得た情報をもとに、いくつかの視点で分析し解釈したものから、指示された条件に合わせて自分の考えをもつことに課題が見られます。

【児童質問紙の回答状況から見える特徴】

- 学校に行くのが楽しいと思っている児童が多くいます。
- 学校の授業以外に勉強をしている児童が多くいます。また、読書が好きな児童が多くいます。
- 「難しいことでも失敗を恐れなくて挑戦している」と感じる児童が少なく「将来の夢や目標をもつ」児童も少ない傾向にあります。授業や学級活動での話し合いの場面で、自分の考えを伝え合い、互いの意見を認め合う体験を積み、自分に自信をもつことが必要だと感じます。

【学校の取組】

今回の結果を踏まえ、今まで学習した漢字や言葉を使った文づくりを行います。短文づくりを通してことばや漢字の力をつけるとともに、条件に合わせて、自分の考えたことを文章で表現できる場を設けていきます。また、各教科の授業や特別活動（学級会・朝の会など）で話す力・聞く力を高めるために、目的に応じて話の内容が明確になるように話し方や書き方の構成を考えたり、自分の考えの理由をもたせたりします。

教育活動を学校全体で見直し、授業改善を推し進め、さらに効果的な実践が展開できるよう取り組みます。今後ともご支援ご協力をよろしくお願いいたします。

なお、この調査は、6年生を対象に4月に行われたものです。結果は、学力の一部であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。これらが児童の特徴の全てを説明しているものではないことを、ご了承ください。



9月・10月の行事予定

第2回再生資源回収（9/4） 地域の皆様のご協力に対して心から感謝いたします。

15日（木）TCC活動	10月7日（金）お話玉手箱・委員会活動
17日（土）対話の輪集會 修学旅行説明会 自然学校説明会	11日（火）愛校活動
20日（火）代休	13日（木）14日（金）修学旅行
26日（月）自然学校（～9/30まで） （26日ピュアランド 山の里 27-30日 西はりま天文台公園）	20日（木）オープンスクール 教育講演会 28日（金）人権教育研究発表会